

吹付タイル仕上げ専用水性シーラー

アレスタイルシーラー

用途

新設各種吹付タイル(Si、E、RE)仕上げの下塗り。

特長

- 1) アルカリシール効果に優れる。
- 2) 速乾性である。
- 3) 素地の吸込み止めに優れる。
- 4) 水性のため安全。
- 5) F☆☆☆☆表示。

適用素材・適用主材

上塗材	コスモアクリル・コスモレタン・コスモシリコンなど ^{*1}		
主材	アレスタイルラフ	マルチタイルラフ	
		Si	RE
下塗材	アレスタイルシーラー		
素材	新設コンクリート・モルタル面 ^{*2}		

*1 JIS 適合等は各主材の説明書等でご確認願います。

*2 旧塗膜面、押出成形板面等には別のシーラーが適しています。

色・荷姿

白、透明
15kg 石油缶

塗装条件

	白	透明
塗装方法	はけ・ローラー・エアレス	
希釈率(重量%)	10~30	50~100
標準所要量(kg/m ² /回)	0.09~0.12	0.07~0.10
希釈剤	上水	

※公共建築工事標準仕様の仕上げ塗材の下塗材としてご使用の場合は、規定の所要量(0.1kg/m²以上)を塗付してください。

塗装時間・塗装間隔

項目	温度	
	23℃	
乾燥時間	指触	10分
	半硬化	15分
標準塗装間隔	最短	2時間
	最長	7日

施工上の注意事項

- 1) 素材の含水率が8%以下、pH10以下になるまで十分に乾燥した上で塗装してください。
- 2) 使用前に十分かき混ぜて均一にしてから塗付してください。
- 3) 低温時(5℃以下)、多湿時(85%RH以上)での塗装は避けてください。
- 4) 塗り残しのないよう、均一に塗装してください。
- 5) 吸込みの大きい素材には2回塗りを行ってください。
- 6) 旧塗膜面には「エコカチオンシーラー」などを使用してください。
- 7) 押出成形セメント板面には、「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」などを使用してください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。

詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

■ 予防策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。本来の目的以外に使用しないこと。指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、

医師の診察を受けること。吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

 関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
関東圏 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935

中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

ご用命は

*製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。